

大阪府消費生活センター 5月の相談件数（速報値）

相談件数 680 件（対前月比 2.4%減、対前年同月比 18.1%減）

全体 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	化粧品	48件
2位	賃貸アパート・マンション	28件
3位	移动通信サービス	27件
4位	健康食品	20件
5位	インターネット接続回線	17件

- ・ 1位の「化粧品」については、48件のうち39件が、「お試しのつもりで注文したところ定期購入になっており、事業者に電話が繋がらず解約できない」という「定期購入」に関する相談でした。
- ・ 2位の「賃貸アパート・マンション」は、退去に関する相談が28件のうち16件でした。先月と変わらず、原状回復費用についてのトラブルがめだちました。
- ・ 3位の「移动通信サービス」は、携帯電話の他社への乗り換えや新料金プランについてのトラブルがめだちました。
- ・ 4位の「健康食品」についても「お試しのつもりで注文したところ、定期購入になっていた」という「定期購入」に関する相談でした。1位の「化粧品」とあわせると「定期購入」に関する相談は合計56件で依然として多くの相談が寄せられています。
- ・ 新型コロナウイルス関連の相談は60件で、5月の全相談件数の8.8%でした。主な相談内容としては、「保健・福祉サービス」が15件（全件70歳以上からのワクチン接種に関する電話相談）、「結婚式関連サービス」が7件（キャンセルや延期に関するトラブル）、「保健衛生用品」が3件（マスクやPCR検査キットに関するトラブル）でした。

65歳以上 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	保健・福祉サービス	15件
2位	化粧品	11件
3位	メール等による架空請求(有料サイトを除く)	6件
4位	健康食品	5件
5位	移動通信サービス	4件
5位	生命保険	4件
5位	申請代行サービス	4件
5位	アダルト情報	4件
5位	インターネット接続回線	4件

- ・1位の「保健・福祉サービス」は、15件すべてが「ワクチン接種に関する電話相談」でした。

通信販売に関するアドバイス

- ・インターネット通販では、サイト内に事業者の名称、所在地、電話番号などを表示しなければなりません。購入前に必ず確認し、それらの表示のないサイトでの購入はやめましょう。
- ・商品が届く前に代金を支払ってしまうと、「商品が送られてこない」場合や、送られてきた商品に問題があった場合に、代金分のお金を取り戻すことが難しくなります。前払いのインターネット通販のトラブルは、屋号やネットショップ名を含まない、個人名だけの名義の口座への振込みであるケースが圧倒的に多いです。購入前に、個人名義の銀行口座に振り込むことはやめましょう。
- ・クレジットカードで決済した場合は、クレジットカード会社にも相談しましょう。

少しでも「おかしいな」と思ったら、消費生活センター（188）や警察相談専用電話（#9110）に相談しましょう。

消費生活相談窓口

消費者ホットライン188番（局番なし）
府内市町村の消費生活相談窓口は[こちら](#)